

HUGこども

第8号
2008年8月

こどもパートナーズ(東村山市秋津町) / FAX: 042-397-1024 / E-Mail hug-partners@jcom.home.ne.jp / URL http://

HUGこどもパートナーズの活動紹介・その8

のぐちちょう子育てひろば“ぷくぷく”発

たのしみ歩きまままっぷ

in 野口商店街

できあがりしました!

「野口町商店街マップ作り講座」(のぐちちょう子育てひろば商店街活性化企画)が、7月18日に終了し、「たのしみ歩きまままっぷ」が完成しました!

5月30日~7月18日まで全6回の保育付き講座に、乳幼児のママ5名が参加。どのように情報を集めるかということから自分たちで考え、実際に町を歩き、協力しあって進めてきた結果、この町で少しでも子育てを楽しんでもらいたいという思いがあふれたものができあがりしました。また、作成にあたって町の再発見もたくさんあり、コラムなども充実しました。さらに折り方にもひと工夫。一度で広げられるアイデア賞ものです。どうぞかわいがって使ってください。

商店街のみなさまをはじめ、多くの方にご協力いただき作成することができました。ありがとうございました。一般には8月中旬より配布いたしますので、ご希望の方はひろばまで(電話393-4181)ご連絡ください。また、各商店にも置かせていただく予定です。

なお、この講座は東村山市社会福祉協議会地域福祉活動助成を受けて開催しました。



朝日新聞の取材も受けました。そのうち掲載されるかも☆

のぐちちょう子育てひろば

「ぷくぷく」

今回のマップ作りと一緒に愛称も募集し、みなさんのアイデアのなかから投票で決まりました。



市議会傍聴ツアー報告

傍聴ツアー参加のママから感想が寄せられています。2008年9月議会でも企画しますので、興味のある方はお問い合わせください。



Aさん
(3歳児ママ)

傍聴ツアー、初めて参加しました! お誘いありがとうございました! HUGさんの小声のナビで、解りやすく楽しく(!?)傍聴できました。(^^) ウワサのりんごっこ保育園の件が出て、(保護者が保育園に入れないなんて、どう考えてもヒドい! これからどうするんだらうっ?)と、すごく気になりました。生で見る議会って、月9ドラマとかよりおもしろいかも(^^) 子どものお迎えがなかったらもっと聴きたかったなあ。廊下にくたくさんソファがあって子連れで来て泣かれても、スピーカーから聴こえるから良いですね。前から一回行ってみたいと思ってたのですが参加できて良かったです!「お母さんたちに聴いてもらえるといい刺激になるみたい」と言ってもらえて、ほんのちょっとだけ政治参加の気分でした。



Tさん
(5歳・7歳ママ)

市議会傍聴ツアーに参加しました。市役所の上の階は未知の世界で、最初は緊張しましたが、話しているのは身近な問題ばかりで、国会中継よりずっとおもしろかったです。たとえば… ◆りんごっこ保育園(素人の素朴な疑問なんですけど、補助金だしませんよ!とか、認可取り消しますよ。とか言えないの? ちょっと、ヤクザっぽい人を担当にしたりして) ◆秋水園のゴミ料金の決め方 10キロの間で四捨五入!? 多くとられる人もいれば少なく取られる人もいる?? それってラッキーなんですかね。「そんな決め方だよ!」ってタカ&トシ風にツッコミいれたくなりましたよ。せめて、『へエ』ボタンでポイントいれたくなりましたよ。議会の壁に電光掲示板で、共感度とか、不審感度とかピコピコでたらよいのに~。

2008年度 9月議会傍聴ツアー

HUGメンバーと一緒に見学してみませんか? もちろん子連れでどうぞ(好きな時間に帰れます)

9月4日(木) 午前9:55 午後12:55

市役所1階エレベーター集合
連絡先 090-6479-4722(磯部)

ツアー参加ママがブログで紹介してくれました☆



Hさん
(5歳・3歳児ママ)

機会あって、市議会の傍聴へ行ってきました。今日は一般質問の日で、議員側からの質問に職員側(企画政策室長とか環境部長とか)が答えるんだけど、これが私たちが全然知らないウラ事情とか見えてたりして、議会のある月に配布される「市議会だより」なんかの抜粋じゃ、こっちは理解するには全然足りないな~と思いました。

一見、すごくミニマムな国会、という印象でした。議長が「〇〇部長~」とか「〇〇議員~」とか言うイントネーションも「国会と同じだ~」って思ったし。でも話していることは市民にとって身近なことばかり。

最初にびっくりしたのが、質問する議員がすごい早口でしゃべること。質問時間が限られているので、そうになってしまうそうなんですけど、下手すると聞き取れない(受付で質問項目をプリントした紙はもらえる)。で、質問がいくつあっても、それを先に全部挙げるようになっていて、回答はその後。一問一答形

式なら、傍聴する側もわかりやすいのに、最後の質問を言い終えてから、最初の質問の答えを言うなんて、間が開きすぎてピンと来ない。煙に巻いているのか?って気分になってしまう。

実際、答えになってない答えが職員側から頻発。質問時間の制限で、再質問の時間がほとんどないから、追求しきれない部分もあるし、なんだか釈然としない。ただでさえ、職員が話すときは専門用語をつなげただけ?みたいなわかりにくいしゃべり方なのに(議員の質問は専門用語交えてても、まだわかりやすい)。都合の悪いことはスルーしちゃうとこは国会と同じだな~とか、「それ一般市民が聞いたら怒るの通り越して呆れるよ」って答弁もあったし。

でもおかげで議会がちゃんと役割を果たしているんだな~ってというのがわかってよかったです。政治は生活の延長にあるって、改めて認識できたし、違う世界だと思ってたところに少しとっかかりを見つけた気分。

雑記報 ■5月に公募した、のぐちちょう子育てひろばの愛称が決まりました。「ぷくぷく」です。これを期に、いっそう親しまれるひろばになっていければいいなと思います。暑い夏ですが、ちょっと休みにでも寄ってください。そして、10月には1周年を迎えます。かわいがってください。皆さまのおかげで、これまで順調に運営できてきたことを、感謝しております。 ■「ぷくぷく」発マップ作り講座ではステキなマップが完成しましたが、さらにステキなことも。東村山市の成り立ちや文化に興味をもったママたちが、伝統の「ゆでまんじゅう」づくりに挑戦することに! 現在作り方など調べていて、秋には「ぷくぷく」にてママ企画として講座を開催する予定です。 ■HUG内の自主サークルとして「整体ヨガ」をはじめ半。心と身体に分なものを落としていきたいと続けています。保育はありませんが、子連れでの参加OKです。月2回平日の午前中に行っていますので、興味のある方はひろばやよるべなどでチラシをゲットしてください。 ■鷹の道沿いにある旧多摩保健所が、この秋地域福祉センターとしてオープンすることに。1階に社会福祉協議会が入り、2階は子育て総合支援センターとなります。乳幼児連れの親子が遊んだり、サークル支援なども行う施設で、運営は小平市の白梅学園が受託。現在いきいきプラザ内に準備室が開設し、市内の子育て支援NPO法人として、HUGも協力しています。 ■HUGコミ次号は秋発行の予定です。お楽しみに。

のぐちちょう子育てひろば
愛称が決まりました！

「ぶくぶく」です。

愛称を募集していましたが、みなさんのアイデアの中から投票で決まりました。ご協力いただきありがとうございました。あかちゃんをイメージし、正福寺の門前にあることにもちなんだ名前です。地域で愛されるひろばになりますように……。 「ぶくぶく」かわいがってくださいね！

ひろばも2年度目、ママたちの居場所としてすっかりなじんできました。よくある質問からいくつか…。

◆毎日何人くらい来るの？

多い日は20組以上、少ない日は10組くらいの利用があります。午前は1歳児さんの利用が多くお昼を食べて帰る親子が多いので、その後1時～2時がすいています。午後は比較的0歳児さんの利用が多く、3時～4時の時間帯がにぎやかになる日が多いです。

◆お盆もやってるの？

よく聞かれるんですけど、お盆中もやっていますので、パパがお盆休みではない方、ぜひ遊びにいらしてください。年末年始以外は、日祝日除いて毎日やっています！10時～16時の間のお好きな時間にどうぞ。

◆ベビーサロンは何か月から行っていいの？

時々電話で聞かれます。生後1～2か月から何か月でもOK。ベビーベットも授乳室もありますから、安心してでかけてください。こもりがちな産後、ほかのママとの交流で悩みも解決。リフレッシュにもなりますよ。予約不要なので、利用者は多い日も少なめの日もあります。

パパサロンの方もメーリングリストができ、その中で交流したり、4月と7月は外での企画、「北山公園で遊ぼう」「ブルーベリー園へ行こう」なども行われました。北山公園では、地元の環境団体「かっぱの会」の方たちに自然のことを教わったり、子ども達は魚やえびにさわっておおはしゃぎ。大きなうし蛙を捕まえたパパもいて、川での遊びを楽しみました。

7月には地元「寿々木園」さんにおじゃまして、みなでブルーベリーを摘みました。ブルーベリーの木は低くて、実も簡単に採れるので小さな子どもも楽しめます。この時期ならではの地元の美味しい味覚満喫です。



パパサロンのブルーベリー狩りに行ってきました。天候にも恵まれ、そんなに暑くもないなか、6組の家族と2名のスタッフが集まりました。初めてだったんですけど、ブルーベリーってつまむと簡単にとれるんですね。子どももつまんで、ケースに入れずそのままぱくぱく食べていました（無農薬なので直接食べても大丈夫らしい）。そのあともプチトマトのつまみ取りをしたり楽しい時間を過ごすことができました。スタッフの皆さんありがとうございました。また参加したいと思いますので、よろしく願います。
(参加したパパのコメントより)



北山公園で遊ぼう(パパサロン)「エビにフナにうし蛙もいたよ〜！」



ブルーベリー園へ行こう(パパサロン)「はい、チーズ！」

ひろば発サークル
「スマイル」誕生！

ひろばに遊びに来るうちに仲良しになったママ達のなかからサークルができました。主に1歳後半の子とそのママ10組が、週1回中央公民館などの部屋を借りて活動しています。

子どもがだんだん大きくなると、ひろばだけでは手狭になりがち。もっと広いところや外でも遊びたくなります。

「今はまだ始まったばかりだけど、そのうち、ランチにでかけたり、公園などでも遊びたいです。公民館はお金もかかるので、子育て総合支援センターができればそちらでも活動したいです」と、リーダーさん。

仲間がいると育児も楽しくなりますね！

ま・ち・こ・ら・む・ろ
わたしたちの住むまちは…

絵本の魅力と
読み聞かせボランティア

野口町 金子 智恵子

昨年三月に市立図書館「子ども

と本の人材バンク」に登録して、乳幼児への読み聞かせボランティアとして活動し、また、息子に頼まれ、やはり昨年から小学校でも朝の読み聞かせを中心に活動しています。我が子は八歳(小三)の息子と、五歳(年長の娘)の二人です。

こんな私は、生まれも育ちも東村山。結婚した相手も東村山で生まれ育った人です。長年ここに住んでいますが、家庭を持ち子どもを持つまでは、ここが住み良い

ところなのか…ということなど、考えもしませんでしたし、知らないことが多かったように思います。息子が誕生してから半年過ぎ頃から子育てサロン(残念ですが、現在はなくなってしまいました)の存在を知り、そこで出会った人達から、児童館の存在や、そこで乳幼児も遊んでいいことなどいろいろな情報を得ることができました。そのなかに、図書館の「おはなし会」についての情報もありました。

当時は、ただ何となく、本が好きだな子にしてあげたい、好きになってほしいと思ひ、読み聞かせの場に連れ出していました。図書館で本を借りて、自宅でも読んであげたりしているうちに、自然と息子とコミュニケーションがとれ、息子が年齢とともに、本の世界でいろいろな発見をしてくれるのが、楽しく感じるようになりました。

そんなことから、私自身も絵本に興味を持ち、いろいろな講座に

参加するようになって、ますます絵本に魅了されていきました。絵本は、きれいな日本語や、ステキな絵と出会うことによって子どもたちの心を育て、世界を広げ、日常ではできない体験をさせてくれます。ナンセンスなことでも絵本の中ではごく自然。絵本の世界と触れることによって、子どもたちそれぞれが、心の部屋を持ち、喜びで満たされるよう願いが込められていくのだと、知れば知るほど実感するのです。

そして、自分の子どもだけではなく、ほかの子どもたちにも、また、ママ、パパたち、おばあちゃん、おじいちゃんにも、絵本がもたらす意味、本を読むことのステキな感性を伝えたいと思うようになっていったのです。多くの子どもとコミュニケーションをとれるステキな時を持つてほしいし、また、私自身がそれを提供するお手伝いのできたらいいなあ。そこから読み聞かせボランティアとして活動するようになりました。

私が、乳幼児読み聞かせボランティアとして活動している場は、三〜四ヶ月検診・乳児学級・赤ちゃん絵本広場(市民センターと本町児童館)・回田おひさま広場・のぐちちょう子育て広場など。どこかでお会いするかもしれませんね。絵本ひろばでは、絵本を読むだけではなく、手遊びやわらべうたも取り入れています。まだまだ学んでいる身ですが、楽しみながら子どもたちの輝いている目を励みにがんばって、自分のものにしていけたらと思っています。

実際、子どもたちの反応はそれぞれ違います。絵本に近寄ってきず離れない子がいたり、食べる真似をしてみたり、常にいろいろな発見があり楽しいです。検診時などでは、読み聞かせをはじめると泣いていた子が泣きやんでくれることもあり肉声のよさを感じます。こんなにかっこいいことを書いていますが、夫には「絵本ばかりではなく新聞もたまには読んでいいよ！」とつつこまれていきます。